

看多機を利用するには

利用対象者

原則、鹿児島市にお住まいの方・要介護1～5の認定を受けた方

利用までの流れ

事業所に相談・問い合わせ ▶ 申し込み契約 ▶ ケアプランの追加 ▶ 利用開始

※看多機には専属のケアマネジャーがいますので、すでに他の介護保険サービスを利用中の方は、ケアマネジャーの変更が必要となります。

看護小規模多機能型居宅介護の利用定員

「小規模」と名称にあるように利用定員が抑えられ、きめ細やかなサービスを提供できます。

一日のご利用定員：18名

お泊まりのご利用定員：9名

ご利用者様の登録の定員：29名

当事業所の特徴

看護と介護の一体的サービスを提供する事業所です

●医療ケアが必要な方 ●体調が不安定な方 ●家族の介護負担を軽減したい方
などの在宅生活を支援します。

訪問看護ステーションを併設しています

同建物内に訪問看護ステーション「節愛」があります。ご自宅で安心して生活を継続していただくために、常に連携をとり協働して皆様をサポートいたします。

医療機関との連携

医療ケアの必要な方も安心してご利用いただけるように看護師による専門的ケアを実施いたします。また主治医との連携、関連施設（今村総合病院、いづろ今村病院、かごしまオハナクリニック等）との連携により、安心して地域で暮らし続けることを支援いたします。

〈かもいけみらいの森〉と地域交流について

当事業所は「かもいけみらいの森」という複合施設の2階に位置しています。

「かもいけみらいの森」は、子どもから大人・高齢の方々まで気軽に立ち寄ることができ地域の皆様のよりどころとなるような場所を目指し、2024年にオープンしました。建物中心に配置されたえほん図書館をはじめ、地域に開かれた運営を行っています。



施設内の様子

泊まりのお部屋



特殊浴槽



ダイニング

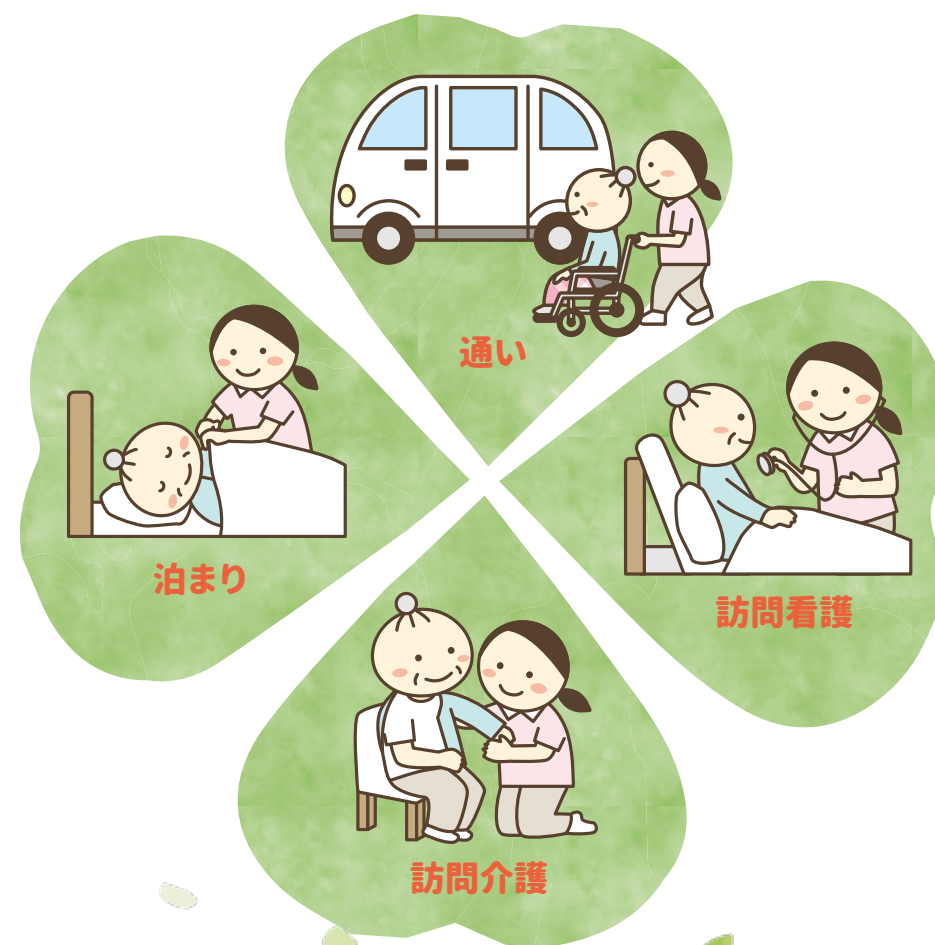


看護小規模多機能型居宅介護事業所



みま森 もり のご案内

住みなれた場所で、最期まで安心して過ごせるように
4つのサービスでお手伝いします。



〒890-0063 鹿児島市鴨池一丁目64番6号 かもいけみらいの森 2階

TEL.099-204-4107

受付時間 10:00 - 17:00〈土日・祝日除く〉

公益社団法人 教育・ヘルスケア振興節英会

<https://setsueikai.com/mimamori/>

看護小規模多機能型居宅介護(看多機)って？

医療ニーズの高い高齢者の在宅療養を支えます

看多機は、医療依存度の高い人や退院直後で状態が不安定な人、在宅での看取り支援など、住み慣れた自宅での療養を支える介護保険サービスです。

要介護1～5の方々は、4つのサービス(訪問看護、訪問介護、通い、泊まり)を、ニーズに応じて一体的に受けることができます。病気を抱えていても、医療と介護の両面で支えます。

看多機が提供する4つの介護サービス

訪問看護

看護師がご利用者の自宅を訪問し、心身機能の維持回復を目的とした医療的なケアを提供します。主治医の指示に基づいて対応します。



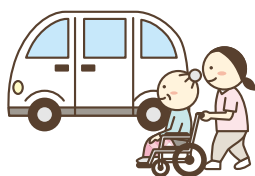
訪問介護

介護スタッフがご利用者のご自宅に伺い、入浴や排泄の介助の他、掃除や調理などの支援(生活援助)を行います。



通い (デイサービス)

ご利用者が看多機事業所の施設に通って受ける日帰りの介護サービスです。食事や入浴といった日常生活における支援や、生活機能向上のための機能訓練などが提供されます。



泊まり (ショートステイ)

常に介護が必要な方の短期間の宿泊を受け入れます。宿泊時は、入浴や食事などの日常生活上の支援や、機能訓練などを提供します。
※利用の際は、空きがあるか事前の確認が必要です。



様々なご利用者の受入が可能です

- 医療処置の必要な方
胃ろう・気管切開、人工肛門などの管理、インスリン注射カテーテルの交換、点滴、褥瘡(床ずれ)ケアなど
- 認知症の方 ●機能訓練やリハビリの実施
- 看取り期の方(末期のがんや老衰など)～ご自宅、看多機事業所内での看取り
- ご家族の介護相談や支援



ご家族やご利用者のこのようなお悩みにも対応できます



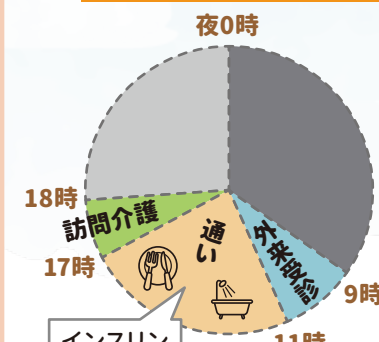
- 病院で長く療養し、退院を勧められているが自宅で介護するには負担が大きい
- 自宅で生活したいが、家族の負担を考えると、ときどき短期のお泊まりをしたい(レスパイトケア)
- ターミナル(終末期)となったが、自宅で看取るには不安
- 夫婦で利用し、お泊まりも同じ部屋にしたい
- 介護のレベルに合わせてサービスを受けたい

個々のご利用者に合わせて自由にサービスの組み合わせができます

利用例A(医療処置の必要な方)

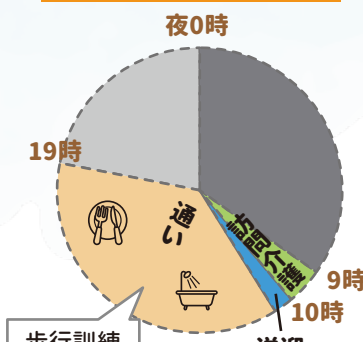
60代男性・脳血管疾患・痰の吸引、胃ろう管理が必要
要介護5・妻と2人暮らし

朝に外来受診をする日



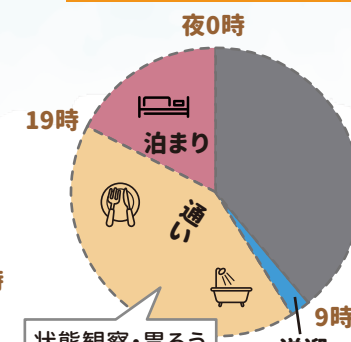
11時から17時まで短時間の〈通い〉を使います。

介護者の帰宅が遅い日



朝から19時まで〈通い〉を使い、夕食をとって帰宅します。

〈通い〉から〈泊まり〉

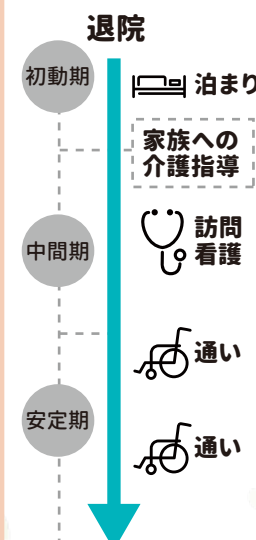


〈通い〉の間に状態が悪化し、急遽〈泊まり〉を利用。

- ご利用者の状態に合わせ、サービスの急な変更にも対応します。
- 医療処置が必要な方の受け入れ態勢を整えています。

利用例B(退院直後の利用)

80代男性・慢性心不全・慢性腎不全
心筋梗塞の既往あり
要介護1・息子と2人暮らし

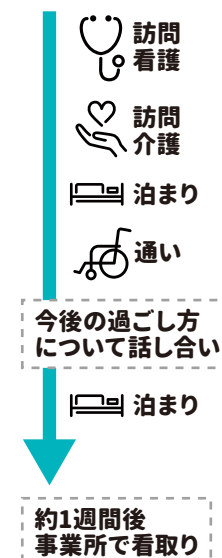


入退院を繰り返していたCさん。退院直後から〈泊まり〉の利用を開始し、看護師が健康状態の観察や普段の生活状況を詳しく聞き、病状悪化の原因を話し合いました。ご本人だけでなく、息子さんにも介護指導を行い〈訪問看護〉と〈通い〉でサポートを続けました。その後は入院することなく、〈通い〉を利用しながら自宅で過ごせるようになりました。

退院時に状態が不安定な方でも、在宅療養にスムーズに移行できるよう、ご利用者と家族を支えます。

利用例C(事業所内での看取り)

80代女性・がん末期・要介護3
独り暮らし



入院して治療を受けていたDさん。「最期は自宅で過ごしたい」と看多機の利用を開始。平日は4つのサービス、土日は自宅で過ごしていました。「自宅で一人で過ごすのは不安だ」と話すようになったため、事業所スタッフや医師、弟さんと話し合い、主に〈泊まり〉を利用することになりました。ご本人の意向に沿ったケアを行い、スタッフが事業所でDさんを看取りました。

ご利用者の状態やご家族の意向に合わせ、ご自宅や事業所内での看取りを行っています。

利用料金

看多機の利用料は、要介護度に応じた月定額制です。利用頻度や回数による増減はなく、介護費用がふくらみすぎないので安心です(ただし宿泊や食事に関する費用などは別途必要です)。